

(1) 令和元年度事業報告について

○ 動物愛護教室

動物愛護思想及び動物の適正飼養の普及啓発を図るには、次代を担う子供たちに対する教育が不可欠であることから「動物の愛護及び管理に関する法律」及び「岐阜県動物の愛護及び管理に関する条例（所有者等の義務及び遵守事項）」に基づき、小学生を対象として動物についての理解、生命を慈しむ心の育成、動物愛護意識の高揚及び動物による危害の防止を目的とした動物愛護教室を開催する。

令和元年度は、各保健所で21回実施した。

動物愛護教室開催状況

回数等／年度	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1
開催回数	11	9	15	17	21
受講人数	519	442	1,223	1,520	2,504

※詳細内容は、令和元年度第2回岐阜県動物愛護推進協議会で報告済。

岐阜保健所及び本巣山県センター（羽島市立正木小学校）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）
 - ・保健所の動物愛護管理業務、狂犬病予防法、動物愛護法について講義。
 - ・動物愛護推進員の協力で犬とのふれあいを実施。
- 保健所担当者の所感
 - ・体育館の室温や音声の聞き取り具合の調整に配慮が必要。
 - ・講義とふれあいの時間配分が難しい。

岐阜保健所及び本巣山県センター（各務原市川島小学校）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）
 - ・『生きているってどういうこと？家畜の命をいただくお話』と題して講義。
 - ・質問コーナーを設け、可能な限り多くの子どもたちの質問を受け動物の命について考えてもらった。
- 保健所担当者の所感
 - ・子どもたちから予想以上に多くの質問を受けた。時間をかけすぎないように、効率的な回答が必要。

西濃保健所及び揖斐センター（大垣市立江東小学校）

- 実施方法及び内容（講師：保健所）
 - ・保健所の動物愛護管理業務について、犬猫の適正飼養について講義。
 - ・動物クイズ
- 保健所担当者の所感
 - ・ペットを飼養するには責任が伴うことを伝え、生徒たちは真剣に聞いていた。
 - ・ペットを飼うときは最後まで大事すること、飼う前によく考えること、殺処分に関する事への意見が見られた。
 - ・動物の適正飼養や命の大切さの普及啓発をしていくために、今後もこういった機会を通じて啓発していくことは必要である。

西濃保健所及び揖斐センター（垂井町立不破中学校）

- 実施方法及び内容（講師：保健所）
 - ・保健所の動物愛護管理業務について、犬猫の適正飼養について講義。
- 保健所担当者の所感
 - ・保健所には飼い主から捨てられた犬や猫が多く収容されていること、その中で殺処分されるものもい

るということを通じて、ペットを飼養するには責任が伴うことを伝えた。

関保健所（関市立洞戸小学校）

- 実施方法及び内容（講師：保健所、動物愛護センター、）
 - ・保健所、動物愛護センターの動物愛護管理業務について講義。
 - ・動物を飼う前に知っておくべきこと。
 - ・クジャクの特徴や飼い方について。
- 保健所担当者の所感
 - ・学校飼育動物としてクジャクを飼育していることから、クジャクに関する話をしてほしいとの要望があり、クジャクの飼い方等の説明を行った。
 - ・担当教諭から動物のことを学ぶ機会は貴重であり、今後も依頼できたらとの話があった。

郡上センター（郡上市立白鳥小学校）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）
 - ・保健所の動物愛護管理業務について、犬猫との接し方について講義。
 - ・獣医師と動物愛護推進員のもと、4頭の犬と児童による犬とのふれあいの実施。
 - ・動物愛護推進員により、動物介在活動について講義。
- 保健所担当者の所感
 - ・講師（推進員）は、獣医師としての経験やJ A H Aのパピーケアスタッフ養成講座の受講、獣医師会開催の「命の授業」の講師経験があり、児童にわかりやすい講義であった。
 - ・3分の2以上の児童が、保健所が動物を譲渡していることを知っていた。一方、動物愛護センターを知っている児童は1人しかおらず、周知の必要性を感じた。

可茂保健所（美濃加茂市立山之上小学校、山手小学校、太田小学校、下米田小学校、蜂屋小学校、古井小学校、加茂野小学校）

- 実施方法及び内容（講師：農業生産法人、美濃加茂市教育委員会、美濃加茂市土木課、八百津町総務課、岐阜大学、保健所）
 - ・ヤギ除草についての説明、クイズ。
 - ・ヤギを用いたふれあい。
 - ・ヤギの生態やふれあい時の注意事項、ヤギによる除草について講義。
 - ・ヤギと自分の心音比べ。
 - ・動物の適正飼養に関する説明。
- 保健所担当者の所感
 - ・積極的にヤギと触れ合う児童がいる一方、ヤギが怖いと感じる児童もいた。
 - ・学校側の柔軟な対応で休み時間の対象以外の児童もふれあいができた。
 - ・児童数が多いため、心音の聞き比べなどの体験時間が流れ作業となってしまったが、児童全員が体験することができた。
 - ・動物への関心を高めるために非常に有用な事業であった。

東濃保健所（瑞浪市立稲津小学校）

- 実施方法及び内容（講師：保健所）
 - ・食べること、命をいただくこと、食物連鎖についてクイズ形式で講義。
 - ・ウサギとふれあいを行った。
- 保健所担当者の所感
 - ・クイズ式で子どもたちが退屈することなく楽しんで講義に参加していた。クイズに正解すると嬉しそうにしていた。普段何気なく食べている家畜の命について考えるきっかけとなった。質問や疑問に一生懸命答えようとする姿勢がみられた。

東濃保健所（瑞浪市立瑞浪小学校、土岐市立土岐小学校）

- 実施方法及び内容（講師：保健所）
 - ・家畜の命をいただく話。
 - ・犬の登録と狂犬病予防接種に関する話。
 - ・ウサギとのふれあいを実施。
- 保健所担当者の所感
 - ・狂犬病についての質問が多く、致死率100%ということが衝撃的だった様子。
 - ・クイズを行うことで、全体を通して、子供たちが楽しみ、集中できていた。

東濃保健所（駄知小学校）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員）
 - ・ウサギの生態や接し方について説明。
 - ・ウサギとのふれあいを実施。
- 保健所担当者の所感
 - ・講義を楽しそうに聞いてウサギのことを理解しようとする姿勢がみられた。

東濃保健所（泉小付属幼稚園）

- 実施方法及び内容（講師：保健所）
 - ・家畜の命をいただくお話。
 - ・ウサギとのふれあいを実施。
- 保健所担当者の所感
 - ・動物アレルギーのある子は触らないようにし、触れた園児については、触った後は手洗いをするよう注意する配慮が必要。

恵那保健所（恵那市立飯地小学校）

- 実施方法及び内容（講師：保健所、動物愛護センター）
 - ・保健所の仕事、動物の適正飼養並びに虐待について
 - ・動物愛護センターの仕事について
- 保健所担当者の所感
 - ・小学校3年～6年と年齢が幅広く講話の内容に悩んだが、保健所における、動物（猫）の引取り・処分の実情を踏まえ、動物愛護・管理についての説明を行うこととした。
 - ・法律の説明については、実際に引取られた犬猫の写真を見せることで、終生飼養・繁殖制限・適正管理等についても興味深く聞いていたと感じた。

飛騨保健所及び下呂センター（高山市立朝日小学校）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）
 - ・保健所に収容される動物について。
 - ・心臓の音を聞いてみよう。
 - ・警察犬の照会。
- 保健所担当者の所感
 - ・本教室の最後に質問したところ、全員の児童が動物を飼いたい気持ちがあることがわかった。
 - ・児童達の発言から、殺処分を減らすことや終生飼養をすることの必要性については、メディア（テレビ番組やCMなど）によって意識づけされていると感じた。

○ 動物愛護推進員活動支援事業

県が推進員活動の環境を整備し、その活動を支援することにより、県民に対する動物の愛護及び適正飼養等の普及啓発を図る目的で、各保健所及びセンター管内の推進員活動の支援を実施した。

※詳細内容は、令和元年度第2回岐阜県動物愛護推進協議会で報告済。

岐阜保健所

支援内容 動物愛護推進員が行う、犬のしつけ方教室や災害時の備えの啓発、マイクロチップリーダーの読み取り実演、猫の室内飼養の普及啓発を支援。

本巣・山県センター

支援内容 保健所から譲渡された犬の健康診断、負傷動物収容の際の予後判定を支援。

西濃保健所

支援内容 防災訓練において、愛護推進員が行うペット同行避難の啓発や同行避難に必要な道具の展示を支援。

揖斐センター

支援内容 学校飼育動物巡回指導として、小学校で飼育しているウサギの健康状態を観察、普糞便検査（虫卵、O157）の実施。餌や水のやり方飼育方法に関する指導について支援。

関保健所

支援内容 愛護推進員へ動物の愛護及び管理に関する法律の一部を改正する法律の概要について説明を行い、動物愛護に関する正しい知識の向上を目的とした講義を実施し推進員の資質向上を支援。

郡上センター

支援内容 愛護推進員が行う犬、猫の接し方について講義、実演。動物介在活動をしている犬の紹介について支援。

可茂保健所

支援内容 愛護推進員が行う「人と動物の関係」についての講義、犬とのふれあい活動を支援。

東濃保健所

支援内容 愛護推進員が行う、ふれあい教室、ウサギの生態・習性の講義を支援。

恵那保健所

支援内容 保健所からの譲渡された犬猫の健康診断を支援。

飛騨保健所

支援内容 愛護推進員が行う、動物についての理解、生命を慈しむ心の育成、動物愛護意識の高揚を目的とした授業を支援。

下呂センター

支援内容 イベント会場で、動物愛護推進員が行う犬のしつけ方の実演について支援。

○ 譲渡ボランティア登録

県内の保健所等は、ボランティアの協力を得て収容動物の譲渡を行っている。これまで、保健所毎でボランティアを登録していたが、令和元年度に県生活衛生課で一元的に登録する制度を整備した。これにより、広くボランティア登録者に譲渡対象動物の情報を提供できるようになった。

登録者 43人（令和2年10月28日時点）

○ 譲渡ボランティアとの意見交換会

ボランティア登録簿の整備及び動物愛護行政に関する意見交換会を県下4会場で行った。

《主な意見》

- ・猫の多頭飼養による問題がボランティアに寄せられる。
- ・不妊去勢手術を徹底し猫の増加を抑えるべきである。
- ・動物愛護センターが遠いため、地域猫活動支援事業を受けるのが困難。猫の運搬を手伝ってほしい。
- ・猫の預かりボランティアを増やしたいが、金銭的な負担が大きく簡単には勧誘できない。
- ・保健所の場所を利用し、ボランティアが参加できる譲渡会を土日開催してほしい。

○ 岐阜県被災動物救援ボランティアリーダーの育成

災害時に動物救護活動を円滑に行うためには、ボランティアや動物愛護団体の協力が不可欠であり、個々のボランティア等の力を十分に発揮するためには防災知識及び動物愛護に関する知識を有するリーダーが必要となる。このため、災害時にリーダーとして活動する岐阜県被災動物救援ボランティアリーダーを養成し、登録している。（任期2年）

平成30年度は新規登録者の養成を行い、令和元年度は登録者への講習を行った

岐阜県被災動物救援ボランティアリーダーとは

1 活動内容

(1) 平常時

- ・ペットの災害対策に関する飼い主等への普及啓発

(2) 災害時

- ・動物救護ボランティアの受付
- ・避難所や動物収容施設等へのボランティア派遣の割り振り
- ・避難所や動物収容施設等での飼養相談受付、飼養管理方法の指導及び技術支援
- ・その他、岐阜県被災動物救援本部が必要と認めたもの

2 登録資格

岐阜県が実施する被災動物救援ボランティアリーダー養成講習会を3回以上受講し、登録しようとする時点で20歳以上であること。

講習会開催状況

○平成30年度（新規登録者への講習）

	演題	内容	講師	参加者数
第1回	災害時の心構えと対応	災害時の心構えと対応などについて学ぶ	岐阜大学地域減災研究センター 村岡 治道 氏	23
第2回	大規模災害発生時の対応（概論）と避難所における動物管理	被災動物の救援について学ぶ	特定非営利活動法人アナイス 平井 潤子 氏	23
第3回	ボランティア体験談	被災地でのボランティア活動体験談を聞く	ボランティアリーダー登録者	24

○令和元年度（登録者への講習）

	演題	内容	講師	参加者数
第1回	「ペット同行避難時の避難所対応について」～ペット版避難所運営ゲーム～	災害とボランティア活動について総合的な知識を学ぶ	防災士、清流の国ぎふ 防災・減災センター げんさい未来塾1期生 岐阜県動物愛護推進員 渡辺 英毅 氏	9

地域別被災動物救援ボランティアリーダー登録者数

地域	岐阜	西濃	中農	東濃	飛騨	合計
登録者数	10	4	16	3	9	42

（令和2年4月1日）